令和 6 年 3 月 13 日

会 議 録

審議会等の名称	令和6年度 健康づくり推進協議会
庶務を担当する所属	健康づくり課
会議の開催の日時	令和7年3月13日(木) 午後1時～2時15分
開催の場所	函南町保健福祉センター 中会議室
出席者(職・氏名)	町議会議員 文教厚生委員長 鈴木 晴範 保健委員 会長 戸田 公子 かなみ女性の会 渡邊 仁美 田方医師会 代表 高橋 健司 " 杉山 達郎 歯科医師会 代表 木ノ内 聡 順天堂大学保健看護学部前任准教授 中川 陽子 東部健康福祉センター健康増進課長 森下 かおり 事務局 厚生部長 大沼 裕幸 健康づくり課長 西川 公次 課員 阿部・勝山・奥田・江川
議 題	(1) 健康増進(成人)主要事業について (2) 糖尿病性腎症及び生活習慣病における重症化予防事業について (3) 後期高齢者保健事業と介護予防の一体的実施事業について (4) 子育て世代包括支援センター関連事業について
協 議 内 容	(1) 健康増進(成人)主要事業について (事務局説明 勝山保健師) 資料1、1-2をもとに説明。特に特徴的なところなどを抜粋して説明 (各委員より意見) ・これだけがん検診を受診しているが、がんの人はいたのか? 肺がん検診はどうか? (事務局回答) がんにかかっていた方は、令和5年度肺がん検診は3人。精密検査対象者のうち11.1%となっている。 ・レントゲンのみの人数か? (事務局回答) レントゲンのみのがん発見者数 (各委員より意見) ・可能ならそれぞれがん発見者数も入れて欲しい (事務局回答) 了解いたしました。

(2) 糖尿病性腎症及び生活習慣病における重症化予防事業について (事務局説明 江川)

資料2をもとに説明

(各委員より意見)

- ・未受診者に対してどうしたらいいのか、対策は考えているか

(事務局回答)

何度も通ってあなたの身体を心配しているということを伝えている。

(各委員より意見)

- ・検診は受けている人たちが対象？

(事務局回答)

はい。未受診の方も毎年健診は受けてくれている。

(各委員より意見)

- ・HbA1c6.5以上のこのような方を抽出し、保健師さんが訪問して勧奨してくださるなんてすごいことですね。

(事務局回答)

糖尿病は合併症が怖いので、早くから予防していて欲しいということで実施しています。

(各委員より意見)

- ・訪問の際は事前にお手紙を出して行くのですか？

(事務局回答)

お会いして糖尿病に関する生活習慣の保健指導をしたいので、予約を取らずに直接訪問をしています。

(各委員より意見)

- ・若い方もいるとのことですが、高齢の方が中心ですか？

(事務局回答)

60代70代の方も多し。

(3) 後期高齢者保健事業と介護予防の一体的実施事業について (事務局説明 江川)

資料3, 3-1をもとに説明

(各委員より意見)

- ・非肥満高血糖が県より高いが、BMIが高い肥満ではなく？

(事務局回答)

今まではBMIメタボで血糖値が高いという傾向があったが、今回肥満でない人の血糖値が高いことがわかった。国保や県と相談をしているが、非肥満で高血糖の人については詳細な分析をする必要があり、分析をすることで効果的な事業展開ができると考えているが、まだできていないというのが現状です。

(各委員より意見)

- ・分析をしたらその結果・傾向が楽しみです。
- ・先生方はいいのかもしれないが、委員としてでなくいち町民代表としては資料にかかっている内容が説明を聞かないとわからない内容になっている。今後改善を。

(事務局回答)

次年度から分かりやすい資料づくりに対応します。

(各委員より意見)

- ・函南町民の今後の課題についてだが、自分自身も血糖値が高く医師にも受診を言われていたが仕事が好きで放置して内服しないでいた。心臓が止まってバイパス手術をしてやっと生活ができるようになった。ワークライフバランスというか、働くことが生きがいの人に受診をさせることはどのように対策をしていくか？自分がなったら反省をしますが…。

(事務局回答)

働き世代の健康づくりは大きな課題だと考えている。働き世代の人にいかに健康づくりを意識していただくかが重要。企業に出向いて行って、まずは企業の上の方に理解をしてもらい、必要なら受診を勧めてもらうなど、PRができるといいと思っているが、企業に出向いて行くこと自体が難しい。色々な市町の先進事例などを聞きながら、函南町も働き世代に介入していきたい。

(各委員より意見)

- ・町民の皆さんに、話し合いをしながら健康増進を推進していることを知らない方が多くいらっしゃるので、それをわかりやすくどう伝えてアピールしていくか？

(事務局回答)

広報の「けんこうの窓」に健康に関する発信をしている。特集号を組みながら、またインターネットなどSNSを使いながら情報提供をしていきたい。

(各委員より意見)

- ・広報に我が身をもって体験した人の経験を載せるのも効果があるかも。

(4) 子育て世代包括支援センター関連事業について

(事務局説明 阿部保健師)

資料4をもとに説明

(各委員より意見)

- ・P2に全件電話とあるが、R5からR6が減っているが。

(事務局回答)

こちらは令和6年度の数12月末までになるので、実施をしていくともう少し多くなる。しかし少子化の影響は否めないで全体数は減ると思われる。すべての妊産婦に電話を入れて状況の確認をしている

(各委員より意見)

- ・少子化はネックになっていると思う。血糖値が高い傾向があったが、県全体が高いとか年齢地域別になど考慮した統計を示して欲しい。課題がついてくるのでは。
- ・5歳児健康診査はどういう検査項目なのか？

(事務局回答)

従来の検診は内科的な健診が主になっているが、5歳児健診は集団での適応の様子を重要視しながら、先生と1対1でしりとりをしたり…質問に答えられるかななどの社会的なところと知的なところを健診の中で判断するものになっている。本来は生活しなれた園に出向いて行ってと思っていたが難しかったので、事前に園の先生に

	<p>聞きとりをしながら、集団の中で設定保育をしながら、指示が理解できているか…なども見ながら社会性・知的などを判断して健診を終える形になる。5歳児健診については、子育て支援課と学校教育課と3課で進めるような形になる。</p> <p>(各委員より全体を通しての意見)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受診率向上に向けての具体的な方策がありましたら教えて欲しい。 <p>(事務局回答)</p> <p>受診勧奨をさせてもらっている。業者に受診行動に移すようなチラシ見せ方を工夫したようなチラシを用いて、未受診やまだら受診を対象に受診勧奨をしている。</p> <p>函南町では頻回に受診勧奨をした方ががん検診では受診率に影響があったので、次年度は自前の葉書を作りつつ、業者にも委託をし、何回か本人の目に触れる形で受診勧奨をしていきたいと考えている。</p> <p>その他</p> <p>健康づくり推進協議会ですが、協議会規則の協議事項の中に「子育て世代包括支援センター事業に関する項目」がありますが、こども家庭センターの設置に伴いこども家庭センター運営協議会が設置されるため、健康づくり推進協議会規則を一部改正させていただきますのでご了承いただけたらと思います。</p>
備 考	傍聴者 0名